

株式会社ジェイコムイースト 仙台キャベツ局

平成 30 年度 放送番組審議会 議事録

平成 30 年度の放送番組審議会は、2019 年 3 月 28 日(木)に仙台キャベツ局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

— ご出席 —

新谷 敏 様	風見 正三 様	川口 浩晃 様
今野 薫 様	早坂 美代子 様	文屋 隆義 様
渡部 洋平 様		

事業者側から局の現況報告、及び J:COM チャンネル (11ch) と J:COM テレビ (10ch) について報告があった。

【審議・質疑応答】(今野委員による進行)

◆視聴者との接点について

委員 視聴者と接点を持ち距離を縮めて、価値創造をしていくことが重要。

事業者 一方通行の放送であってはならない。視聴者目線での制作、また公開収録などで、ご意見をいただく機会も設けている。今後も様々な視聴者との接点を持ち、番組に反映をさせていきたい。

◆ケーブルテレビの役割について

委員 防災・健康福祉についての情報をつなぐ役割があると思う。病院や大学との連携は？

事業者 安心安全情報の提供は最大の責務である。消防署や自治体・病院への取材活動を通じて、各所との関係構築を図り、発災時の連携を整えているところである。

◆特番放送について

委員 お祭りやイベントを支える人々が少なくなっている、支える方々もクローズアップし紹介してほしい。

事業所 主催者側より良く言われることは、主催者側の思いを伝えてほしいということ。思いが伝わらなければ民放と変わらないとお叱りを受けることもある。取材時には、背景についてもしっかりと掘り下げて取材をしていきたい。

◆取り上げる情報について

委員 地域の方々も知らないような歴史を取り上げて町の魅力を伝えていただきたい。また、

市町村側の困りごとについての情報が市民にも提供されるとよい。地域活性につなげていけるのでは。

事業者 地域の課題はイノベーションや町おこしにつながる可能性を秘めている。「デイリーニュース」のコーナーで取り上げるなど、地域の応援団という立場で情報を提供できればと思う。

委員 地域の方が、地域に誇りを持てる番組、起業について最初の一步を踏み出せるようなテレビ放送があったら良いと思う。

◆情報の伝え方について

委員 「仙台なるほど調査隊」における“みやぎ台”の放送回では、地域の概要的な説明があるともっと伝わるといった。その地域を知らない方でも分かるような番組作りをお願いしたい。

事業者 視聴者の皆様も分かっているということを前提で番組制作を進めてしまうこともある。掘り下げた部分も改めて伝えていくことにしっかりと取り組んでいきたい。

委員 蓄積したデータの活用もできるといい。ニュースの背景も含め、補足があると分かりやすい。

◆地域の課題解決について

委員 学生が定着し、起業などで地域を支える力となっただけが重要と考えている。地域活動に取り組む学生の「仙台人図鑑」での紹介、また、学生や町内会組織にて情報を掘り起こし番組企画・制作をしていただくのはいかがか。

◆その他のご意見

委員 ハウスキーピングと介護医療分野を接合させた、マスメディアにはできない、より双方向性のあるマルチサービスの展開を望む。

以上